

# 2023年の事業報告書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

## 一般社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク

### 1 事業の成果

(1) 特別養子縁組あっせん事業は、今年度で事業開始5年目となった。設立後に判明した事として、沖縄ではどのような生活困窮下であろうと実母が養育したいと希望する事がほとんどで全国に比べ養子の依頼は非常に少ない。そのような状況やコロナの影響等から養親希望者の面接や研修を休止していたが、今年度は養親希望者への面接や研修を再開。若年にんしん SOS から繋がった女性が1名、市町村を通して相談へと繋がった女性2名が皆無事に出産し養子縁組へと繋ぐ事が出来た。今年度の養子縁組成立件数は2件となっている。

(2) 若年妊娠 SOS 事業は、県からの委託事業3年目となり、本事業が周知されるよう一般企業（コンビニ、カラオケ、A&W 等）や自治体・学校関係者の協力を得て、チラシ・携帯用カードの配布、SNS の活用により、当事者に確実に情報が届くようになった。又、県民に広く周知されると同時に関係機関と密に連携を図りながら実施する事が出来ている。また、今年度から助産師が相談の窓口である LINE 担当をする事で、より細やかな対応と専門的見地から信頼のある安心した対応となっている。相談件数は、LINE 登録のみ172件、相談対応件数889件、合計1,061件であった。その内妊娠検査薬実施が17件、病院同行件数が28件。相談中に生理が来たという報告が88件あった。昨年と比較すると相談対応件数に関しては3倍以上も増加しており、又、必要とされる少女たちへの認知度も高くなっている事で早めの相談が増え、生理が来たという報告も増えている。

(3) 妊産婦の一時宿泊事業については、日本財団からの助成金の突然の打ち切りで存続の危機に見舞われた事もあったが、企業や民間機関、マスコミ等を通じて一般県民への寄付を依頼し、多くの皆さんの協力を得て事業継続を行う事ができた。また、昨年度には県議会へ陳情書を提出し若年妊産婦の宿泊型居場所の必要性を訴えてきた。その結果、10月から特定妊婦等支援臨時特例事業として県での設置が決定し他団体により実施する事となり、まりやハウス風の家を9月末にて閉所する運びとなった。2023年度は4月～9月／3名の女性と2名の新生児の一時保護を行った（3名中1名は養子縁組委託）

【実施状況】利用者入居年月日：2021年5月～2023年9月／入居者数：16名

(妊婦14名、同伴児2名) + 新生児6名

(4) リングキャンペーン事業については、今年度で3年目を迎え、リング装着者へのアフターフォローとして、避妊用リングの入替を提案してきた。大半は期限が5年の避妊具を装着している者が多く、利用には繋がらなかった。リング装着後、この3年で本人が一家の大黒柱となって働いているケースもあり逞しくなっている利用者も居た。また6月、7月には離島自治体訪問事業を行い宮古島・石垣島へ訪問した。以前より電話問合せはあったが中々利用には結び付かずだったが周知事業を行ったことで、12月辺りから相談件数が見受けられるようになってきた。前年と比べ各項目それぞれ上昇が見られる。相談件数63件→108件、利用者数21名→61件、リング装着（一カ月検診含む）26件→93件と実績があり、昨年度は一カ月検診の受診が少なく、装着後の避妊効果の精度を上げるためにも一カ月検診が受診無料で受診できる事をしっかり伝えてきた成果だと思われる。

(5) 若年ママ運転免許取得事業について、今年度は沖縄県子ども未来応援基金助成が不採択となり自主事業を余儀なくされた。その為前年度は、6名の人材を支援する事が出来たのだが、本年度は2名に留まる結果となった。1名は4か月程で免許を取得し、免許取得前から就活にも力を入れ、免許取得後には通勤するための車の購入方法などを検討していた。もう一人は、初の離島在住者であるが10月頃から自動車学校へ通い始め、就労と家事・育児、自動車学校と幾つもの草鞋を履いており、6か月经つが現在第一段階をパスできずにいる。今後の見通しとして、本人、支援者、法人とで Web 面談を行う予定をしている。免許取得するには本人の意欲や環境によりモチベーションが大きく左右される。その為、家族・支援者はもちろんの事、関係機関と連携を図り支援していく事が必要だと思われる。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特別養子縁組斡旋事業に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の予算額(千円)
おきなわ子どもみらいポケット (特別養子縁組斡旋事業)	・養親希望者に対する個別面接・家庭訪問等(人件費)	2023年1月～随時	読谷村各圏域	5名	養親希望者	10,596
	・養親希望者研修事業(本事業所、保育園、乳児院等)	2023年1月～随時	読谷村糸満市	5名	養親希望者6組(12名)	0
	・関係機関との連絡会議	2023年5月～随時	各圏域	5名	児童相談所・産婦人科病院等	100
	・その他(消耗品、備品等)	2023年1月～	読谷村	約5名		138
	事業費合計					

### (2) 若年妊娠SOS沖縄に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の予算額(千円)
若年にんしんSOS沖縄 (若年妊産婦支援事業)	・若年にんしんSOSライン相談事業(365日)	1日: 24時間	読谷村	3名	県内全域	5,604
	・若年妊娠SOSサポーター初任者研修(中止) 継続研修3回(全体)	2023年7月11月2月	読谷村	約5名	サポーター30名余	296
	・妊娠検査薬配布事業(随時)	2023年1月～	県内全域	約30名	17件	110
	・産婦人科病院同行事業(随時)	2023年1月～	県内全域	約30名	28件	291
	・自治体、民間企業、学校等へのチラシ・カード配布(年2回、3カ所)	2023年6月～	県内全域	約5名	当事者等	466
	その他(消耗品、備品等)	2023年1月～	読谷村	約5名		423
	事業費合計					

## (3) 妊産婦一時宿泊事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費 予算額 (千円)
まりやハウス風の家 (妊産婦一時 宿泊事業)	・妊産婦一時宿泊事業実施 ・関係機関との連絡会 ( 随時 )	4月	読谷村	5名	県内全域	147
	・家賃及び光熱費、食費等 運営費 (人件費含む)	5月	読谷村	約5名	県内全域	4,796
	事業費合計					4,943

## (4) リングキャンペーン事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費 予算額 (千円)
リングキャンペーン事業	・望まない妊娠を繰り返し 避妊を希望する女性にリン グを支給する (随時)	7月～ 随時	読谷村	5名	県内全域	4,734
	事業費合計					4,734

## (5) 若年ママ運転免許取得事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費 予算額 (千円)
若年ママ 運転免許 取得事業	・経済的に困窮し、運転免許 を取得できないシングルママ に免許取得費用を助成する	8月～ 実施	読谷村	5名	6名	1,900
	事業費合計					1,900

**総事業費 29,601千円**